

# 走りと魅力を際立たせるGTブランド tanabe

## 走りへの欲求から始まった 本気のGTパーツ開発

愛車をチューニングしたいのに、パーツが少なくて思うようにいけない。そんな走りに対する欲求をきっかけとして、GTブランドであるtanabeは1982年に立ち上げられた。フリーストランドは走りとスタイルの双方から引き締める強化スプリングを軸に、メタルクラッチや軽種ファイホイルといった駆動系パーツも展開。その後もオイルクーラーやエキマニ、マフラー車高調からエアサス、強化スタビライザーに

補強パーツと、tanabeはユーザーニーズへ応えるラインアップ拡充を常に図っている。

中でも注目すべきは、クルマを楽しむに当たって良質なフットワークは欠かせない存在と捉え、ブランド立ち上げから常に探求を重ねてきたカスタムスプリングへのこだわりだ。

というのも、tanabeはN1やF3000、スーパーフォーミュラにスーパーGTと、多岐にわたるカテゴリ向けレース用スプリングを長年供給。コマ1秒を削るコンペティションレベルで培ったノウハウを、ストリートモデル開発へとフィードバックし続けている。

要求値が異なるモータースポーツとストリートの両ステージで日々追求してきた性能や品質、耐久性。その中で軽量化、スプリングレートの出力、耐久性などさらなるレベルアップを目指し、tanabeは2001年滋賀工場内にスプリング製造工場を新設。アフターパーツメーカーとしては初

理想のスプリングを求めて冷間成形製法を導入

## 確かな物作りから生み出す 優れた性能と品質、耐久性

“安心・安全”を  
大原則として作りを注ぎ込む  
頼もしいフットワークマイスター

となるハイパワーコイルングマシンを導入し、高強度で耐へたり性に優れた冷間成形でのスプリング供給体制を整えた。

### 性能探求とともに 安心安全を添える

ハイパワーコイルングマシンの導入で実現された、冷間成形でのスプリング供給体制。もちろん、最新鋭の設備を導入しただけでは理想の性能が手に入るわけではありませんが、材料は品質の高い国産にこだわり、設計・生産工程、品質管理まで最適化する。さらに、高性能で安心・安全が確立する。だからメイドインジャパンにこだわっているのです。これはマーケティング部で広報を担当する林さん。

そんなtanabeのスプリングに使用される素材が、高周波誘導加熱処理を施された独自オダの材料が、高強度・高靱性に優れた強度のバラつきが非常に小さく抑えられているのが特徴。スプリングの成

形後も形状の安定性や耐久性、耐へたり性ともに高水準をキープすることができると。また、安心安全という部分では、形にむき設計を形にする生産工程に加えて、品質管理も重要な。材料を仕入れた際に、毎回、自社の計測機で基準を確かめた後、硬さか確認を行う。低温ブルーイング（低温焼き）までして時間と温度を徹底管理。最終検査では全数検査を行ない、設計通りに仕上がっているかどうかどう



tanabeのカスタムスプリングはコイルング、低温ブルーイング（低温焼き）で、ダブルシャットピーニング、パッチング、下地処理に粉体塗装と多数の工程を経て仕上げられる。出荷前の最終検査はもちろんだが、各工程においても自由長など設計通りの仕上がりになっているかを全数チェック。製品に絶対的な自信を持っているからこそ、カスタムスプリングのSUSTEC、GT、DEVIDにはへたり永久保証が与えられているのだ。



安心・安全のもとで定回りの性能を発揮させるためにはブラケット設計が非常に重要なものとなる。独自基準を課しているブラケット試験では縦方向、横方向それぞれ100万回もの加振試験や溶接の強度面を徹底チェック。長期にわたって安定した性能を発揮できるtanabe製品のタフネスさは、こうしたこだわりを積み重ねて築き上げているのだ。



車格やユーザーニーズへ応じて、車種別設計で開発へ取り組むtanabeのフットワークアイテム。ローザカスタムスプリングの採用される。ちなみに、車高調へ投入するダンパーはバートナーシップを結ぶKYBと共同開発。こだわったスプリングと同様に、ダンパーに関しても確かな技術力と性能、品質を妥協なく突き詰めてきた。



GTパーツブランドとなるtanabeは立ち上げ直後からモータースポーツと密接に関わり、レース用スプリングを多彩なカテゴリへ供給し続けてきた。コマ1秒を削るコンペティションレベルでは不可能な極限データや製品の革新へのつながるヒントが得られる生き生きとした開発ステージなのだ。



スプリング性能の理想を追求する中でたどり着いたのが、高強度や耐へたり、軽量で自由度の高い設計が可能な冷間成形だ。アフターパーツメーカーでは唯一となるハイパワーコイルングマシンを滋賀工場へ導入し、2100N/個もの引っ張り強度を誇るカスタムスプリングを生産させた。溶接仕上げから生産工程、品質管理まで一切の妥協を許さず生み出していく。タナベこだわりの製品。ダウンサスや車高調に採用するストリート用はもちろん、レース用も同じ生産ラインを使用する。

へ妥協なき物作りのこだわりをコンビネーションさせて、走りや魅力を際立たせるGTブランド、tanabe。カスタムスプリングを筆頭に、安心・安全という走りの頼もしいが担保されたハイパフォーマンスアイテム群は、チューニングライフを楽しむ上で見逃すことのできない存在だと言えるだろう。

マーケティング編  
用品企画は林正美さん

1996年入社。マフラーや補強パーツの販売へと携わった後、補強パーツを主軸とした製品開発を担当。製造・開発双方を熟知した経験を活かし、現在はtanabeのブランドマーケティングを担当している。

「自由長やレートといった部分が注目されるスプリングですが、「安心・安全」が担保されたハイパフォーマンスアイテムへは上げられるためには、専任設計の技術が不可欠で素材や製法、工程や品質の管理もすべての項目が担保されています。アフターパーツメーカーならではのハイパワーコイルングマシン導入の冷間成形に注力しているのは、通常の1.5倍となるショットピーニングを大径の金庫型を使ったダブルシャットピーニングするなど、優れた性能を安定して発揮させることや耐久性を徹底的に追求しています。」